

第1回各務原市特別職報酬等審議会 議事概要

日時 令和7年11月25日（火） 午後1時30分より
場所 各務原市役所本庁舎 4階会議室4-3・4-4
出席委員 北角浩一会長、福睦徳副会長、河合正嘉委員、近藤亜矢子委員、別宮理恵委員、松井大輔委員、杉山一夫委員、武山瑛子委員
欠席委員 なし
傍聴者 なし

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
　浅野市長より代表として北角委員に委嘱状を交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び職員の紹介
- 5 会長及び副会長の選出
　会長に北角委員、副会長に福委員をそれぞれ選出
- 6 諒問
　浅野市長より北角会長に諒問書を交付
- 7 議事
 - (1) 審議会の運営について
 - (2) 市長、副市長及び教育長の給料の額並びに市議会議員の議員報酬の額等について
- 8 その他
 - (1) 非常勤の特別職職員に対する報酬の額について
- 9 閉会

議事録（要旨）

議事（1）審議会の運営について

資料2 各務原市特別職報酬等審議会の運営について（案）

資料3 各務原市特別職報酬等審議会の会議の公開等に関する要領（案）

事務局	（資料2、3について説明）
会長	この案のとおり決定してもよろしいか。
委員	（賛成全員）
会長	これ以降傍聴を認める。 傍聴希望者はいますか。
事務局	いません。

議事(2) 市長、副市長及び教育長の給料の額並びに市議会議員の議員報酬の額等について

資料4、別添資料①～⑯

事務局	(資料4、別添資料について説明)
会長	意見の前に今回の審議会3回の内容のイメージについて説明して欲しい。
事務局	<p>本日の1回目は、「引上げ」「据置き」「引下げ」の方向性を示していただきたい。また、例えば、引上げであれば根拠をもってどれくらいの改定率がいいのかも示していただきたい。</p> <p>次の2回目はその結果を落とし込んだ資料を使って議論していただきたい。</p> <p>最後の3回目は皆様のご意見をまとめ、市長に答申する形で進めていきたい。</p>
会長	方向性を定めるため、委員の意見はないか。
副会長	20年以上報酬が変わっていないのは据置きではなく、実質の減額と同じである。災害などへの即応が求められるのが特別職であるが、市民サイドから見ても特別職の責任の重さと報酬が見合っていない。将来的なことを考えれば、報酬が低いと特別職になろうとする若い世代が少なくなり、組織の高齢化や持続性が損なわれる。
委員	そもそも前回の改定からなぜこんなに時間が経っているのか。民間だと毎年職員も役員も見直しを行っている。この間審議会が開催されてこなかった理由があれば教えて欲しい。
事務局	明確な理由は分からぬ。他市を見ると定期的に開催されている市もあるため、今回の審議会で開催頻度についても検討いただきたい。
会長	審議会の開催頻度については、審議会の附帯意見として検討する。
委員	最低賃金も県内で急激に上がっている。専業議員になりたい方には影響があるため、議員の成り手がいなくなってしまう。若い世代が安心して働く程度の報酬が必要と考える。
委員	市長らのような1人でやられている方は活動が分かるのでしっかりとした報酬でいいと思う。議員24名全員が市のために一生懸命であると信じているが見えない部分がある。どういった活動されているか勉強したい。
委員	他市の状況と比較して決定するのも一つの方法だが、よりよい人材を確保するためには、より高い報酬の設定にするのも一つの方法だと思う。特別職の方もやりがいのある報酬の水準にしたい。
会長	また、他市と比べて教育長の給料が低い理由はあるか。
事務局	理由は分かりかねる。教育長の給料は、平成7年までは一般職の給料表に準じていたが、平成7年6月から現在の定額制としており、他の常勤の特別職とは異なる経緯がある。

委員	類似団体を見ると財政力指数が高い市は市長の給料も高い。民間企業の感覚だと、売り上げが多い企業の会社の社長は給料も高いこともあり、近隣の市に合わせる以外にも財政力指数も考えていくべきだと思う。
委員	何をもって高いとするのか。どれくらいが妥当なのかを決める基準はあるか。
事務局	正解はない。近隣の市とのバランスや人口規模、最終的には総合的に判断するしかないと考えている。一般職員の状況や民間企業の賃金の状況も参考になる。
副会長	民間企業に勤めていた時の団体交渉の際、大手企業が決まらないと決められないことがあった。ある程度想定的に決めるのも止むを得ないと思う。
委員	民間企業の従業員は人事評価が給料決定のエビデンスになるが、特別職には人事評価がないため、基準が難しい。選挙の時に判断される。近隣市とのバランスは必要だと考える。市町村の規模からして岐阜市は上回れないが、多治見市よりは上回るという考え方もできるのではないか。
委員	給与として1万円上げても実質は6千円とも言われている。税金を取られると結局上がらないことにもなる。経費を補助する制度はあるか。
事務局	議員には政務活動費がある。（政務活動費について説明）

その他（1）非常勤の特別職職員に対する報酬の額について

資料5、別添資料①～⑦

事務局	(資料5、別添資料について説明)
委員	議題（2）と合わせたタイミングで見直すべき場があるべきと考える。据置きではなく引上げるべきと考えるが、どれくらい引上げるかは皆さんのご意見も踏まえて考えたい。
委員	他市の委員の経験もあるが、自治体ごとに差があるように感じた。各務原市は活発に意見が出る会議だと思った。平均より低い金額のため、適正な額に引上げるべきに思う。
委員	物価等が上がっているのに据置きはおかしい。引上げるべきだと思う。職員の給料が上がるときに一緒に引上げる必要があると思う。
委員	県内の状況を見ると、岐阜市、大垣市、各務原市の順になるのがよいと思う。
委員	附属機関の委員とはどのような人か。
事務局	市の運営にかかわる審議事項について審議等を行っていただく方々で令和7年度は延べ約500人が参加する予算としている。委員の皆さんのように一般企業等で働いている人が時間を割いて参加していただいている。

委員	仕事をしている人で時間を割いて参加しているのであれば、他市とのバランスも考え、報酬を引上げると時間の割きがいもあるのではないか。
委員	こちらもしばらく審議されてこなかったことが気になる。時間が拘束される点であることから見直してもよいと思う。

全体について

会長	ここまで事務局からの説明、議論を踏まえ、「常勤・非常勤の特別職の報酬等の額の方向性、金額設定、審議会の開催頻度」について各委員の意見を聞きたい。
副会長	相対的に見ると、大垣市と比較すると分かりやすい。改定率は、平成16年の引下げがずっと続いている。これを元に戻すことから出発すべきではないか。 附属機関の委員は、6,500円もらえるだけありがたい。
会長	常勤の特別職は、引上げは必要。民間で10%程度、また物価も10%程度上がっていると改定幅は10%程度上げてもよいのではないか。 非常勤についても、他市と比べて8,000円まで上げていいと思う。 見直しは3年に1回、あるいは任期毎にすべきである。 議員については、政務活動費の存在が気になる。市民感覚では報酬とは別にそうした経費が補助されていいのか。国の方でも政治と金の問題が取り沙汰されている。議員が活動している姿が見えにくいこともあるため、議員の数を学校区の数と合わせるなど減らしてもいいのではないか。
委員	審議会の開催頻度については、定期的には必要だが、来年見直さなければならぬ状況になるかもしれない。賃上げの可能性もある。
委員	一定の割合で引上げのものよいが、他市と比較して設定する考えもよいのではないか。
委員	前はスーパーの買い物でひとかご7,000円だったが今は10,000円かかる。物価がそれだけ上がっているため、物価上昇に合わせ、10%程度上げてもよいと思う。
委員	今回は20年間のこともあるので、10%程度引上げは必要だと思う。春闘はこの数年で毎年5%程度上がっているため、考えが合うと思う。
委員	10%程度でよいと思う。20年分のことと他市の状況も見る必要がある。
委員	審議会の開催時期が、来年か5年先なので変わる。少なくとも2年以内に開催される想定ならば、一般職の改定率がベースになると思うが、次回までにもう少し検討したい。

委員	常勤の特別職について、職務に応じた点は見えないが、引上げ幅は相当議論していく必要がある。今回の資料に追加して、直近で改定のあった県内他市の改定率の資料が欲しい。また、副市長は2名いるが市長の職責と比べると2馬力というところも鑑みて金額の議論をする必要があるのか。
事務局	県内21市で本市を含み8市が2名体制を取っており、他市と比べて職務が分散しているわけではない。
委員	副市長2名のうち、国機関の出身の方は、国の給料に準じているのか。
事務局	市独自のものである。
委員	市長と議員は選挙があるが、副市長と教育長はどのように選任されるのか。
事務局	市長が指名し、議会の同意が必要。任期満了後、一般の職員に戻ることができるわけではなく、継続がなければ、その職は失うこととなる。
会長	以上で、本日予定していた議事は全て終了した。